

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

令和4年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩小学校

教科	図画工作	学年	第3学年
----	------	----	------

題材名	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準
絵の具と水のハーモニー	筆、パレット、筆洗の使い方を知って、水の量を工夫して絵を描く。 ※筆や筆洗、パレットの使い方に慣れる。	☆ 知	筆の使い方や水の量を工夫しよう。	☆ 知 筆の動かし方や水の量を変えることを通して、あらわれる形や色などの感じがわかっている。
		思	絵の具遊びから、描きたいことを考えよう。	思 水彩絵の具を使ってできる形や色の感じ、筆の動かし方でできる跡の違いなど、いろいろな表し方を工夫している。
		学	絵の具で描くことをたのしもう。	主 水彩絵の具でいろいろな描き方を試し、描く心地よさを味わい、表すことをたのしもうとしている。
ふわふわ空気をつみ木	空気を入れたビニル袋の心地よさを味わいながら活動する。	知	袋の積み方やつなぎ方を工夫しよう。	知 膨らませたビニル袋をたくさんつくったり触れたりしながら、形や色、ビニル袋の感触や活動する場所の感じがわかっている。
		思	袋を積んだりつないだりして、つくりたいものを考えよう。	思 膨らませたビニル袋の形や色、感触、活動する場所の感じをもとに、自分のイメージを広げながら、造形的な活動を思いついたり、新しく変化させたりして、どのように活動するか考えている。
		☆ 学	空気の積み木のふわふわした心地よさをたのしもう。	☆ 主 膨らませたビニル袋の感触などの心地よさを味わい、友達と協力してたのしもうとしている。
ねん土ランドへようこそ	友達と協力して、たのしい「ねん土ランド」をつくる。	知	粘土でできることを生かして表し方を工夫しよう。	知 粘土に触れたり動かしたりすることを通して、粘土でできる形などの感じがわかっている。
		思	つくりながら、どんなねん土ランドができるか考えよう。	思 握る、ひねる、積み上げる、つなげるなど、手のさまざまな部分を使い、粘土でできそうなこと、やってみたいことなどを工夫している。
		☆ 学	友達と協力して、つくることをたのしもう。	☆ 主 粘土の感触や働きかけてできた形などからイメージを広げ、どのような「ねん土ランド」ができそうか思いついたり、表し方などを考えたりしている。
		☆ 主	友達と協力しながら、粘土に働きかけ、自他の感覚やイメージを共有しながら、「ねん土ランド」をつくることをたのしもうとしている。	

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準	
ふくろの中には、何が…	身近材料を使って、紙袋の中に自分だけの世界をつくる。	知	いろいろな材料の使い方を工夫しよう。	知	いろいろな材料を見たり触れたり集めたりして、それぞれの形や色の感じがわかっている。
		☆ 思	袋の中に広がる世界を考えよう。	☆ 思	自分のイメージをもち、袋の中に表したい世界を思いつき、材料や袋の形を生かしながら表すことを考えている。
		学	いろいろな材料でつくることをたのしもう。	主	いろいろな材料で袋の中の世界をつくることをたのしもうとしている。
ふしぎな乗りもの	身近なものがどんな乗り物になったら面白いと考えて、絵に表す。	知	形や色などの描き方を工夫しよう。	知	どのようなものが乗り物になったらたのしいかを考えながら、身近なものの形や色の感じがわかっている。
		☆ 思	不思議な乗り物やお話を考えよう。	☆ 思	身近なものからイメージを広げ、思いついた不思議な乗り物やお話を考えている。
		学	不思議な乗り物を描くことをたのしもう。	主	想像を膨らませながら、不思議な乗り物を描くことをたのしもうとしている。
にじんで広がる色の世界	白いクレヨンやパスの形を生かし、絵の具をにじませた世界を描く。	☆ 知	にじみでできる形や色の組み合わせを工夫しよう。	☆ 知	クレヨンやパスで描いた形の中に絵の具をたらしてにじみをつくりながら、形や色などの感じがわかっている。
		思	にじみでできた形や色からお話を考えよう。	思	にじみでできた形や色の感じから、自分のイメージをもち、表したいことやお話を思いつき、表し方を考えている。
		学	にじみで表すことをたのしもう。	主	にじみを生かして自分の色の世界を表すことをたのしもうとしている。
つかってたのしいカラフルねん土	軽量紙粘土に絵の具を混ぜて、使ってたのしいものをつくる。	☆ 知	たのしく使えるように、形や色の組み合わせ方を工夫しよう。	☆ 知	カラフル粘土をつくりながら、形や色の感じがわかっている。
		思	カラフル粘土で、使ってたのしいものを考えよう。	思	これまでの経験を生かし紙粘土に色をつけて形づくりながら、使ってたのしいものを工夫して表している。
		学	カラフル粘土でつくることをたのしもう。	主	カラフル粘土でできる形や色の感じや自分のイメージから、使ってたのしいものを思いつき、どのように表すか考えている。
				主	カラフル粘土でつくることをたのしもうとしている。

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準	
光サンドイッチ	色セロハンをトレーシングペーパーではさみ、光を通すときれいな飾りをつくる。	☆ 知	光と影の形や色の組み合わせを工夫しよう。	☆ 知	光を通す材料を扱ったり形を変えたりしながら、光があたるときの材料の形や色などの感じがわかっている。
		☆ 思	光を通した材料からつくりたい飾りを考えよう。	☆ 思	光や影を意識して、材料の形や色を試したり、つくり方を考えたり組み合わせたりして工夫している。
		主 学	光を通した美しさをたのしもう。	主	光を通したときの材料や飾りの美しさをたのしもうとしている。
あみあみ大きくせん	網を使って場所を生かした活動をする。	知	網の使い方を工夫しよう。	知	網に触れたり、場所に関わったりしながら、材料やまわりの環境の形や色の感じがわかっている。
		☆ 思	網をいろいろな場所に引っかけて、たのしい活動を考えよう。	☆ 思	網を広げたり、ねじったり、くるんだり、結んだりして手や体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。
		主 学	網を使って、友達と協力して活動しよう。	主	大きな網をいろいろな場所にかけることからイメージを広げ、場所なども生かしながら、活動を思いついたり、変化させたりしながら、どのように活動するか考えている。
でこぼこさん大集合	凹凸のある身近な材料を台紙に貼って、版画に表す。	☆ 知	版のつくり方や写し方を工夫しよう。	☆ 知	凹凸のあるさまざまな材料を集めたり、紙に写したりすることを通して、あらわれる形や色の感じがわかっている。
		☆ 思	「でこぼこさん」とそのお話を考えよう。	☆ 思	いろいろな材料を組み合わせて版をつくったり、刷り色の組み合わせや写し方を工夫したりしている。
		主 学	版をつくったり、写したりすることをたのしもう。	主	版をつくったり写したりしてイメージを広げ、「でこぼこさん」とそのお話を考えている。
集めて、ならべてマイコレクション	自然の材料を集めて空き箱に自分らしく詰めたり並べたりする。 ※鑑賞として、「小さな美術館」	知	材料の形や色の特徴を知ろう。	知	自然のものを集めて、実際に触れながら、形や色の特徴やその感じがわかっている。
		☆ 思	互いのコレクションのよさを見つけよう。	☆ 思	形や色、手触りなどから、自分なりのいろいろな仲間分けを思いついている。
		主 学	身近な材料を集めたり、並べたりすることをたのしもう。	主	コレクションの詰め方や並べ方、形や色などの感じをもとに、自分や友達のコレクションのよさを見つけようとしている。
					形や色、手触りなど自分の気に入った感じの自然の材料を集めたり、箱に並べたりすることをたのしもうとしている。

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準	
トントンくぎ打ち、コンコンビー玉	板材に釘を打って、ビー玉が転がるコースターをつくって遊ぶ。 ※金づちと釘の使い方に慣れる。	知	釘の打ち方や材料のつけ方を工夫しよう。	知	金づちを使って釘を打ったり、材料をつけたりしながら、形や色の感じがわかっている。 釘や金づちの扱いに慣れ親しみながら、材料のつけ方を工夫してコースをつくっている。
		思	ビー玉が転がるたのしいコースを考えよう。	思	釘打ちでできる、ビー玉が転がるコースを考えながら、つくりたいものの発想を広げ、釘の位置を試したり、ビー玉の動きを確かめたりしながら、たのしい仕組みを考えている。
		☆学	みんなで釘を打ち、つくったコースで遊ぼう。	☆主	友達と協力して、釘を打つ感触をたのしみながら、ビー玉がいろいろな動きをする形や仕組みに関心をもって、つくったコースで遊ぶことをたのしもうとしている。
未来にタイムスリップ	将来自分がなりたい夢を想像して絵に表す。	知	場面に合った表し方を工夫しよう。	知	夢をかなえた瞬間を思い浮かべたり、動きで表したりしながら、その場面に合ったポーズと形や色の感じがわかっている。 描画材料を使った経験などを生かしながら、夢をかなえた瞬間の場面に合った表し方を工夫している。
		☆思	夢をかなえた場面を考えよう。	☆思	将来の自分を想像し、夢をかなえた場面を思いつき、どのように描き表すかを考えている。
		学	自分の夢を表すことをたのしもう。	主	自分の夢を絵に表すことをたのしもうとしている。
さわってわくわく	身近な材料の触り心地を生かして貼り、絵に表す。	知	材料の組み合わせ方を工夫しよう。	知	材料に触ったり、見たりして、材料の形や色などの感じをとらえている。 材料に触れながら、形を変えたり、並べたり、組み合わせ方を変えたりなどの工夫をして表している。
		思	触った感じを生かして、表したいことを見つけよう。	思	触り心地から仲間分けをしたり並べたりしながら、表したいことを見つけ、どのように貼るかを考えている。
		☆学	材料の触り心地のよさや違いをたのしもう。	☆主	材料の触り心地のよさや違いをたのしもうとしている。
生まれかわったなかまたち	古着などの形や色の組み合わせを工夫して、生き物などを立体に表す。	☆知	材料の形や色の組み合わせを工夫しよう。	☆知	材料に触れたり、変形させたり、組み合わせたりしながら、形や色などの感じがわかっている。 材料の変化を試しながら、表したいことに合わせて、形や色の組み合わせ方などの工夫をしている。
		思	材料からつくりたいなかまを考えよう。	思	靴下や手袋に新聞紙などを詰めたり、ひもなどで結んだりした形や色などの感じをもとに、イメージを広げてつくりたいものを想像し、材料を生かして表したいなかまを考えている。
		学	材料を変身させることをたのしもう。	主	靴下や手袋などの材料の形を変えていくことをたのしもうとしている。

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

題材名	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準	
のこぎりひいてザク、ザク、ザク	角材をたくさんのこぎりで切り、木片を組み合わせてつくりたいものをつくる。 ※のこぎりの使い方に慣れる。	☆ 知	のこぎりの使い方や木切れの組み合わせ方を工夫しよう。	☆ 知	のこぎりで角材を切りながら、いろいろな角材の形の感じがわかっている。
		思	木切れから、つくりたいものを考えよう。	思	のこぎりの扱いに慣れ親しみながら、どのようにのこぎりを使うとよいか考え、切り方や木切れの組み合わせ方を工夫している。
		学	のこぎりで木を切ることをたのしもう。	主	切ってできた形の感じから想像を広げ、つくりたいものを思いつき、どのように組み合わせて表すかを考えている。
線と線が集まって （形と色でショートチャレンジ）	線の組み合わせ方や色の塗り方を工夫して絵に表す。	☆ 知	線の組み合わせ方や色の塗り方を工夫しよう。	☆ 知	たくさんの線を描いたり、色を塗ったりしながら、形や色などの感じがわかっている。
		思	線がつくる形から、描きたいことを考えよう。	思	自分が感じた形や色の面白さなどから、線の組み合わせや色の塗り方を工夫している。
		学	線から生まれる形をたのしもう。	主	線がつくる形や色などの感じから、自分のイメージをもち、表したいことを見つけ、形の組み合わせや色の塗り方などを考えている。
みんなでオン・ステージ！	空き箱と輪ゴムなどを使って弦楽器をつくり、みんなで演奏してたのしむ。	知	楽器の形や色、つくり方を工夫しよう。	知	空き箱と輪ゴムを組み合わせながら、形や色などの感じや音の出る仕組みの特徴がわかっている。
		思	どんな弦楽器にするか、考えよう。	思	箱や角材などいろいろな材料や用具を使い、自分の表したい弦楽器に合わせて形や色、つくり方を工夫している。
		☆ 学	友達と一緒につくったり、演奏したりすることをたのしもう。	☆ 主	輪ゴムのかけ方やネックの取りつけ方、空き箱や容器の特徴から発想して、つくりたい弦楽器のイメージを広げ、どのように表すかを考えている。
					弦楽器をつくることや友達といっしょに演奏することをたのしもうとしている。